

# 平成27年度 第3回刈谷市行政評価委員会

日 時：平成28年2月4日(木)10:00～12:00

場 所：刈谷市役所 4階 402会議室

- (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について
- (2) 次年度の行政評価について

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 平成27年度外部評価の流れ

### 5月14日(木) 第1回行政評価委員会

外部評価の実施方法、外部評価対象の小施策の選定

### 8月4日(火) 第2回行政評価委員会 (外部評価)

基本施策	施策の内容(小施策)
市街地・住環境	市街地の整備・改善
次世代育成・子育て支援	幼稚園・保育園の整備・充実

### 10月22日(木) 外部評価実施結果報告書

8月4日の外部評価でいただいた意見を報告書にまとめ、市長に提出



(ご意見に対する市の方針及び対応を検討)

### 2月4日(木) 外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 大施策『市街地・住環境』—小施策『市街地の整備・改善』

### ◇ 今後のビジョン、目指すべき都市構造に関するもの

①、②



- ・住工純化が基本の中、住工混在も評価されるなど、**多様化する価値感を的確に捉え、多層、多様なかたちで有識者や市民の意見を取り入れる。**
- ・本市の**目指すべき都市構造は、**駅やバス停を拠点にした**ネットワーク型コンパクトシティ。**バスの周遊など参考に検討を進めていく。

### ◇ まちの特色(城下町の歴史、自動車産業集積地)に関するもの

③、⑤



- ・**市民生活の安心・安全**を向上させる事務事業を**第1優先**に実施。
- ・通勤者の利便性の向上はもちろん、将来的に刈谷を選んでもらえるよう、**歴史、文化、レジャー、スポーツなど刈谷の強みを活かしたまちづくり。**
- ・**市長部局に『文化観光課』を新設。**さらに関係課間の連携を密に推進。

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 大施策『市街地・住環境』—小施策『市街地の整備・改善』

### ◇ 事務事業評価シート、指標に関するもの

④、⑦



- ・事業の成果やその効果を客観的に示しているものが指標。活動指標と成果指標を整理し、事業の成果欄の記載も合わせて修正。
- ・効率性の評価について、市道2-496号線の場合、入札の総合評価は過去の工事成績や人員配備体制等による加点の差で決定しているため、効率性の評価としては適当ではなかった。
- ・「刈谷駅乗降客数」は「住みやすさ」を説明する指標の1つ。他の3つの小施策との因果関係を整理し、「住みやすさ」を説明する追加指標を今後検討。

### ◇ 障害者差別解消法、ワークショップの課題への対応

⑥、⑧



- ・現在、道路やJR逢妻駅のユニバーサルデザイン化を推進。段差解消が必要な歩道を把握する調査も実施していく。
- ・ワークショップには若手もいるが少数。若手を育てる工夫を今後検討。

※ 『①、②…』の番号は、事前配付資料『市の方針及び対応報告書』の意見番号

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 大施策『次世代育成・子育て支援』—小施策『幼稚園・保育園の整備・充実』

### ◇ 事務事業評価シート、指標に関するもの

①、③、④



- ・民間保育所運営支援事業の**運営委託と建設補助を分けた方が分かりやすくなる**。今後は、事務事業の分割、又は補足説明資料で明確化していく。
- ・効率性の評価は、国の補助制度の活用ではなく、「**保育園の一部を民間に担ってもらうことで、待機児童へ早急かつ効率的な対応ができる**。」に修正。
- ・預かり保育実施事業などの人件費は、**現場の保育者の人件費も計上すべき**であるので、次年度評価から他事業を含めて対応。
- ・成果指標が2つとも主観的な指標。次の計画策定時には、**主観と客観を意識して指標を検討していく**。

### ◇ 女性活躍推進

⑤



- ・引き続き**長時間保育、預かり保育などを充実**させつつ、子どもの生活が最大限尊重されるよう、「家族」「地域」「行政」等が協力して施策を推進。

※ 『①、②…』の番号は、事前配付資料『市の方針及び対応報告書』の意見番号

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 大施策『次世代育成・子育て支援』—小施策『幼稚園・保育園の整備・充実』

### ◇ 園の建設や維持管理、保育者の充実

⑥、⑦、⑧



- ・保育の質を高めるため、**職場環境の向上**や**職員研修**などによる**資質向上**に努め、保育者の意欲と向上心を高める。
- ・今後も先進事例を参考にしながら、災害対策など**安全で使いやすく**、地域の特性を活かし、地域住民や利用者から愛される施設づくりを心掛ける。
- ・公共施設維持保全計画に基づき、計画的に施設の保全、建替、再編を行っていくが、**将来的な保育園の需給バランス**も視野に入れて**計画管理**を行っていく。

# (1) 平成27年度外部評価実施結果に対する市の方針及び対応報告書について

## ◆ 大施策『次世代育成・子育て支援』—小施策『幼稚園・保育園の整備・充実』

### ◇ 合計特殊出生率の向上施策

②、⑨



- ・本市の合計特殊出生率は全国や県より高い水準。女性労働率のM字カーブも谷の部分の浅くなっているが、さらなる向上が必要。
- ・刈谷市版総合戦略では、「結婚・子ども育成支援」を基本目標に掲げ、**重要な施策の1つ**として推進。ご意見のように、出生率等が高い傾向を示してきた理由を分析しつつ、不断の見直しを行いながら計画を推進していく。
- ・**中学生の保育実習や職場体験、高校生や大学生の保育ボランティア**などにより、子どものかわいらしさを感じる機会を設けている。今後もその機会を充実させ、**若者自身に子どもを生み育てたいと感じていただきたい。**



## (2) 次年度の行政評価について

### ◆ これまでの取組

年度	内部評価	外部評価
平成23年度	事務事業評価 (938事業)	事務事業評価 (20事業)
平成24年度	事務事業評価 (920事業)	事務事業評価 (20事業)
平成25年度	事務事業評価 (879事業) 施策評価 (30施策)	施策評価 (8施策)
平成26年度	事務事業評価 (821事業)	小施策評価 (6小施策)
平成27年度	事務事業評価 (826事業)	小施策評価 (2小施策)



### ◆ 平成28年度内部評価の取組予定

◇ 事務事業評価 (対象: 約800の全事務事業)

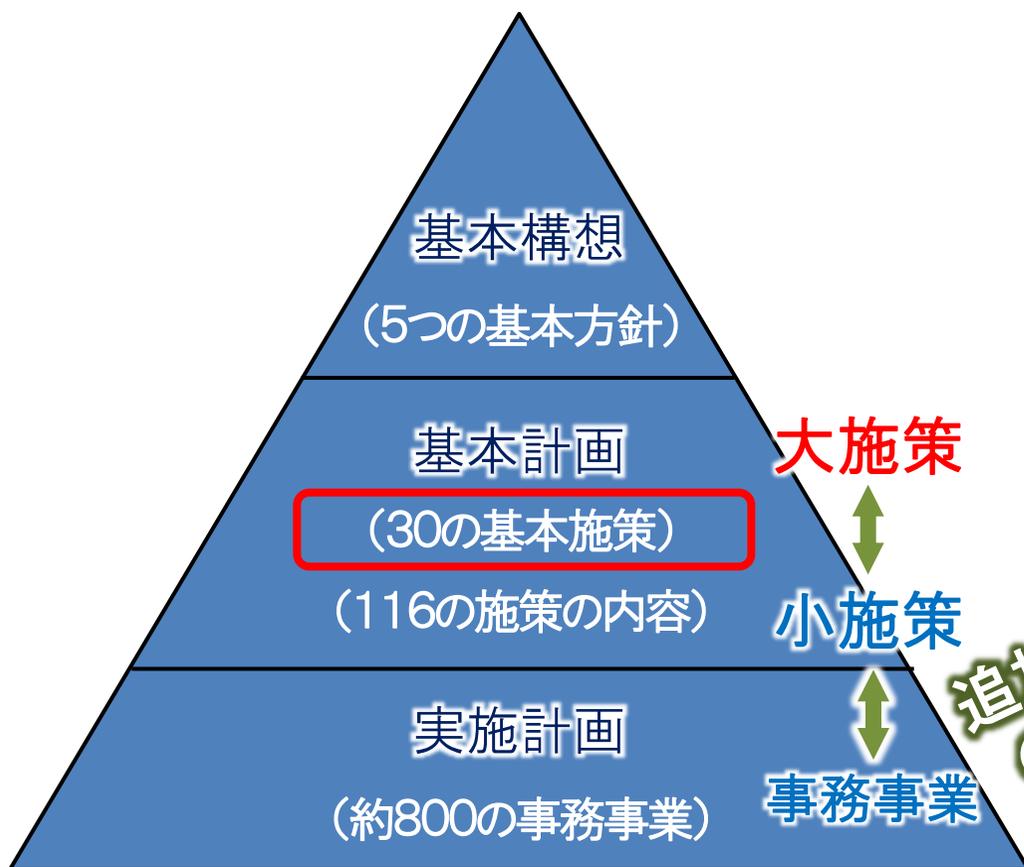
継続実施

◇ 施策評価 (対象: 30の全基本施策)

総合計画の中間評価

## (2) 次年度の行政評価について

### ◆ 平成28年度施策評価(内部評価)の実施方法



第7次刈谷市総合計画の体系

- ◇30の基本施策すべてに対して、『**施策評価シート**』を作成
- ◇平成27年度のモデルケースを参考に小施策レベルを中心に『**追加指標**』を設定し、事務事業-小施策、小施策-大施策の間の因果関係を補完
- ◇施策評価シートの公表

総合計画の中間評価  
(内部評価)

## (2) 次年度の行政評価について

### ◆ 平成28年度外部評価の実施方法

総合計画の中間評価(内部評価)結果に対して、外部評価を実施

#### ◆ 目的・効果

- 中間評価の客観性の確保
- 外部の視点からの貴重なご意見による改善
- より効果的かつ効率的に計画期間後半の総合計画を推進

#### 案 1

- 【午前】・現地調査
- 【午後】・事務事業評価  
(20分×1件)
- ・小施策評価  
(50分×1件)
- ・施策評価  
(80分×1件)

#### 案 2

- 【午前】・現地調査
- 【午後】・施策評価  
(80分×2件)

(案1-1) 別分野から3件

(案1-2) 同一分野から3件